

◆湯梨浜町まちづくりアンケート調査結果【年代別】◆

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。

(1)あなたの性別

	人	%	対象者数	回答率	前回回答率
1. 男性	309	45.4%	750	41.2%	33.2%
2. 女性	357	52.5%	750	47.6%	40.4%
3. その他	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
未回答	14	2.1%	—	—	—
合計	680	100.0%	1,500	45.3%	40.9%

(2)あなたの年齢

	人	%	対象者数	回答率	前回回答率
1. 10代	31	4.6%	100	31.0%	11.9%
2. 20代	58	8.5%	200	29.0%	24.0%
3. 30代	72	10.6%	200	36.0%	30.4%
4. 40代	81	11.9%	200	40.5%	37.4%
5. 50代	90	13.2%	200	45.0%	42.3%
6. 60代	125	18.4%	200	62.5%	56.2%
7. 70代	130	19.1%	200	65.0%	56.5%
8. 80代	86	12.6%	200	43.0%	—
未回答	7	1.0%	—	—	—
合計	680	100.0%	1,500	45.3%	40.9%

(3)あなたの世帯構成

	人	%	前回回答率
1. 単身世帯(ひとり暮らし、単身赴任)	56	8.2%	6.0%
2. 夫婦のみの世帯	142	20.9%	19.4%
3. 二世帯世帯(親と子)	303	44.6%	43.5%
4. 三世帯世帯(親と子と孫)	140	20.6%	27.0%
5. その他の世帯	18	2.6%	2.5%
未回答	21	3.1%	1.6%
合計	680	100.0%	100.0%

(4)あなたの家族構成(あなた以外の家族)

※複数回答可

	人	%	前回回答率
1. 未就学児	81	11.9%	18.2%
2. 小学生	72	10.6%	9.8%
3. 中学生	56	8.2%	—
4. 高校生	70	10.3%	22.0%
5. 大学生・専門学校生(短大・大学院生も含む)	69	10.1%	9.7%
6. 学生以外の18~64歳の成人	419	61.6%	—
7. 65歳以上	348	51.2%	57.7%

(5)あなたの職業

	人	%	前回回答率
1. 農林水産業	43	6.3%	10.9%
2. 農林水産業以外の自営・自由業	30	4.4%	3.7%
3. 勤め人(正規雇用)	214	31.5%	47.6%
4. 勤め人(非正規雇用)	93	13.7%	—
5. 家事専業	55	8.1%	9.8%
6. 学生	35	5.1%	1.6%
7. 無職	176	25.9%	21.1%
8. その他	22	3.2%	3.6%
未回答	12	1.8%	1.7%
合計	680	100.0%	100.0%

前回選択肢

「1. 農林水産業」「2. 農林水産業以外の自営業」「3. 会社、団体の役員」「4. 会社員、団体の職員」「5. 公務員」「6. パート、アルバイト」「7. 家事専業(主婦・主夫)」「8. 学生」「9. 無職」「10. その他」

(6)あなたの居住地

	人	%	対象者数	回答率	前回回答率
1. 羽合地区	345	50.7%	500	69.0%	38.0%
2. 東郷地区	224	32.9%	500	44.8%	41.4%
3. 泊地区	104	15.3%	500	20.8%	44.5%
未回答	7	1.0%	—	—	—
合計	680	100.0%	1,500	45.3%	40.9%

(7)あなたの居住歴

	人	%	前回回答率
1. 湯梨浜町に生まれてから、ずっと住んでいる	264	38.8%	26.9%
2. 県内外の市町村からUターンしてきた	121	17.8%	—
3. 県内の他市町村から転入してきた	210	30.9%	34.1%
4. 県外から転入してきた	50	7.4%	7.8%
5. 県外から県内の他市町村へ、その後湯梨浜町へ転入してきた	22	3.2%	—
未回答	13	1.9%	1.4%
合計	680	100.0%	100.0%

前回選択肢

「1. 湯梨浜町に生まれてから、ずっと住んでいる」「2. 湯梨浜町出身だが、湯梨浜町以外での居住経験がある」「3. 県内の他市町村から転入してきた」「4. 県外から転入してきた」

問2 あなたは、湯梨浜町は住みやすいと思いますか。

問2

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 住みやすい	10	26	38	27	43	44	50	45	283
2. どちらかといえば住みやすい	15	20	25	39	31	53	55	26	264
3. どちらともいえない	6	10	6	10	8	17	14	10	81
4. どちらかといえば住みにくい	0	2	2	3	5	9	8	3	32
5. 住みにくい	0	0	1	1	2	1	1	1	7
未回答	0	0	0	1	1	1	2	1	6
合計	31	58	72	81	90	125	130	86	673

【考察】

全年代において、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した方が大半であり、年代によっての特徴は特には見られない。

問2-1 あなたが「住みやすい」と思う理由は何ですか。

問2で「1. 住みやすい」「2. どちらかといえば住みやすい」と回答した方

※複数回答可(3つまで)

問2-1

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1 住み慣れた土地で愛着がある	19	29	33	29	39	57	63	58	327
2 親戚や友人などの知人がおり相談できる人がいる	9	20	22	16	15	29	31	33	175
3 地域の人とのつながりやコミュニティがいい	5	5	7	9	12	20	22	29	109
4 自然環境に恵まれている	18	22	39	37	41	71	77	40	345
5 通勤、通学、通院など交通の便がよい	1	10	16	17	19	17	14	6	100
6 日常の買い物などに便利	3	18	24	23	33	44	41	15	201
7 医療、福祉サービスが充実	1	3	2	1	5	4	16	13	45
8 保育、子育て環境に恵まれている	2	8	20	14	15	15	7	2	83
9 子どもの教育環境がよい	1	1	6	9	6	2	3	3	31
10 公共施設が充実	0	0	3	4	5	2	11	4	29
11 消防、防犯、防災体制がしっかりしている	0	1	3	1	3	1	8	3	20
12 その他、自由記載	1	0	0	3	4	0	1	0	9
合計	60	117	175	163	197	262	294	206	1474

【考察】

最も多かった回答は、10代、20代、80代では「住み慣れた土地で愛着がある」、30代から70代では「自然環境に恵まれている」であった。「住み慣れた土地で愛着がある理由」が多かった理由としては、10代、20代、80代はそれまでの人生において湯梨浜町の居住期間が長いと思われる。また「日常の買い物などに便利」と回答した人が20代から70代にかけて多い傾向にある。

問2-2 あなたが「住みにくい」と思う理由は何ですか。

問2で「4. どちらかといえば住みにくい」「5. 住みにくい」と回答した方

※複数回答可(3つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 地域に愛着がもてない	0	0	0	0	3	2	2	0	7
2. 知人がほとんどなく、相談できる人がいなくて不安	0	0	0	0	0	0	2	0	2
3. 地域の人とのつながりやコミュニティがない	0	0	0	0	1	3	3	0	7
4. 自然環境に恵まれていない	0	0	0	1	0	1	0	0	2
5. 道路事情や交通の便が悪い	0	2	2	1	3	7	5	3	23
6. 日常の買い物が不便	0	0	2	4	6	7	9	3	31
7. 医療、福祉サービスが充実していない	0	0	0	1	2	3	3	2	11
8. 保育、子育て環境が悪い	0	0	1	0	1	0	0	0	2
9. 子どもの教育環境が悪い	0	0	0	0	0	1	0	0	1
10. 公共施設が充実していない	0	1	1	2	1	2	2	0	9
11. 消防、防犯、防災体制が不十分	0	0	0	0	0	0	1	1	2
12. その他	0	1	0	2	2	1	2	0	9
合計	0	4	6	11	19	27	29	9	106

【考察】

全年代を通して、「日常の買い物が不便」「道路事情や交通の便が悪い」と回答した人の割合が高い。

問3 湯梨浜町の人口は、現在16,748人(R2.3.31現在)ですが、2045年(令和27年)には、13,244人に減少すると国立社会保障・人口問題研究所での推計結果が公表されています。湯梨浜町の人口減少が進行していった場合に生じる社会への影響について、あなたが影響が大きいと考えるものや不安に思うことは何ですか。

※複数回答可(2つまで)

問3

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 国や地方が税収減となり、行政サービスが低下する	5	17	17	26	30	27	28	22	172
2. 年金の減額、社会保険料や医療費の増額など社会保障に係る個人の負担増	8	24	37	35	43	63	55	30	295
3. 若者など地域を支える担い手(働き手)の不足	17	25	27	29	35	52	50	44	279
4. 地域コミュニティ活動の縮小	3	2	4	7	3	4	11	3	37
5. 人口減少の進行による土地の荒廃	8	9	13	19	20	38	41	30	178
6. 労働力人口の減少などによる地域産業の衰退	6	15	11	10	16	23	28	18	127
7. 人口減少による消費減などで、商店街などのにぎわいの低下	5	7	10	13	15	18	19	9	96
8. 地域の伝統や文化の衰退	1	8	5	7	4	10	5	4	44
9. スポーツ、文化、娯楽などの余暇を楽しむ機会の減少	0	1	4	1	1	0	2	1	10
10. ゆったり生活できる(スローライフ)	3	0	2	2	1	6	8	2	24
11. それほど影響はない	2	2	3	3	3	4	7	4	28
12. その他	0	0	0	1	1	1	1	2	6
合計	58	110	133	153	172	246	255	169	1296

【考察】

全体を通して、「社会保障にかかる個人の負担増」「若者など地域を支える担い手不足」と回答した方が多い。「社会保障にかかる個人の負担増」との回答が多いのは30代から70代で、これは健康保険料、年金保険料などを納付している年代にあたる。また60代以降の高年齢層については「土地の荒廃」と回答した方の割合が高い傾向にある。

問4 人口減少を克服し、活力ある社会を目指して、湯梨浜町が取り組むべきことについて、重要だと思うものは何ですか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 子育て支援や仕事と家庭の両立(ワーク・ライフ・バランス等)の充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組	15	30	48	31	34	54	46	35	293
2. 地域を担う子どもの教育環境の充実とふるさと湯梨浜町を愛する気持ちを育てる取組	6	15	15	13	21	22	29	15	136
3. 産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組	13	14	15	40	39	39	42	34	236
4. 人を呼び込み、居住・定住を促進する取組	10	14	19	20	16	26	21	15	141
5. 地域の特性を活かした魅力づくりや地域づくり(コミュニティづくり)など、人口減少社会の中でもいきいきと安心して暮らせる地域を目指す取組	3	15	16	19	27	46	50	26	202
6. 介護や認知症予防など、高齢者への施策を充実し安心して暮らせる地域を目指す取組	4	9	12	18	22	39	31	22	157
7. 恵まれた自然の一層の保全に努める取組	2	6	8	3	9	14	18	5	65
8 その他自由記載	0	2	1	4	3	1	2	2	15
合計	53	105	134	148	171	241	239	154	1245

【考察】

「子育て支援や仕事と家庭の両立(ワーク・ライフ・バランス等)の充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組」「産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組」と回答した方が多い。前者の回答率は10代から30代、60代、80代で高く、後者は40代、50代、70代で高い。

問5 あなたが生活している中で、最も楽しいと感じることは何ですか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1 家族が仲良く健康でいられること	14	27	49	50	62	88	94	68	452
2 働くこと	0	3	7	14	13	17	18	9	81
3 子どもの成長	0	6	30	31	13	17	6	5	108
4 趣味、スポーツ活動	8	18	15	20	13	33	26	6	139
5 地域、ボランティア活動	0	1	3	1	1	3	5	5	19
6 勉強、学習活動	2	1	1	0	1	0	0	1	6
7 友達との交友	14	19	6	8	12	19	18	16	112
8 旅行	2	13	8	3	10	10	10	2	58
9 平和で穏やかな日々	12	19	19	25	38	48	58	42	261
10 その他自由記載	2	1	2	0	2	2	2	1	12
合計	54	108	140	152	165	237	237	155	1248

【考察】

今回新設した設問である。すべての年代で「家族が仲良く健康でいられること」と回答した方が多い。また「平和で穏やかな日々」と回答した方の割合も高くなっている。

問6 あなたは、町の子育て環境を充実させるため、どのような取組が必要だと思いますか。

※複数回答可(3つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 若い世代の雇用確保などによる経済的安定	15	26	27	38	47	72	88	61	374
2. 育児休業の所得や復職・再就職の支援など、妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境の整備	18	29	44	32	47	52	60	34	316
3. 妊娠・出産・子育てに関する相談・学習・交流の場の充実	4	14	6	5	7	16	8	7	67
4. 子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化	1	3	5	3	4	6	6	5	33
5. 公園の整備など子どもの遊び場の確保	9	16	28	12	13	19	16	12	125
6. 乳幼児健診・健康相談・健康教育の充実	1	7	2	7	3	13	5	6	44
7. 保育料の軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な支援	14	28	35	39	43	48	52	26	285
8. 病児・病後児保育や一時・休日保育、放課後児童クラブ等の保育環境の充実	6	15	24	28	18	33	23	11	158
9. きめ細やかな教育ができる少人数学級などによる教育環境の整備	3	1	8	16	21	19	20	6	94
10. 教育相談員やスクールカウンセラーの配置	4	4	1	7	3	5	6	3	33
11. 学校の学習活動などへのボランティア活動の積極的な活用	4	0	1	2	3	7	4	5	26
12. 生命の大切さや家庭の大切さといった価値観の醸成	3	5	8	11	17	26	46	26	142
13 その他	0	1	3	6	3	1	0	2	16
合計	82	149	192	206	229	317	334	204	1713

【考察】

アンケート全体の回答率の順位としては、「若い世代の雇用確保などによる経済的安定」「育児休業の所得や復職・再就職の支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境の整備」「保育料の軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な支援」の順となっている。

年代別では10代から30代、50代では「妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境の整備」が最も多く、40代では「子育て・教育における経済的な支援」、50代から80代では「若い世代の雇用確保などによる経済的安定」が最も多い。(50代は「若い世代の雇用確保などによる経済的安定」「妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境の充実」が同数であった。)

問7 あなたは、生涯学習活動・文化活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1 指導者や相談体制の充実	7	24	19	23	29	22	42	35	201
2 各種講座や催し物の内容および情報提供の充実	6	15	26	26	26	50	38	27	214
3 文化施設など活動の場の整備充実	5	9	14	14	16	18	18	13	107
4 史跡等の保存や伝統文化の後継者育成	2	13	10	11	11	17	20	14	98
5 音楽・美術等の鑑賞機会の充実	11	6	11	9	16	27	18	2	100
6 学習・文化団体への支援及び発表機会の充実	3	3	4	5	4	7	14	4	44
7 文化イベントの企画・開催	8	7	15	15	21	23	8	5	102
8 生涯活動の拠点である中央公民館活動の充実	0	2	1	5	7	17	30	12	74
9 地域の生涯学習の拠点である自治公民館活動の充実	0	1	4	4	6	19	25	11	70
10 図書館機能の充実(利用者のニーズや時代に即した図書及び資料の充実)	10	8	17	15	11	18	12	4	95
11 県や大学等の専門機関との連携強化	6	14	6	12	11	10	14	6	79
12 その他 自由記載	0	0	2	4	4	2	0	4	16
合計	58	102	129	143	162	230	239	137	1200

【考察】

アンケート全体の回答率の高い順としては「各種講座や催し物の内容および情報提供の充実」「指導者や相談体制の充実」「文化施設など活動の場の整備充実」となっている。年代別で見ると10代は「音楽や美術等の鑑賞機会の充実」、20代、50代、70代、80代は「指導者や相談体制の充実」、30代、40代、60代では「各種講座や催し物の内容および情報提供の充実」が一番多い。

問8 あなたは、スポーツ活動をより活発にしていくためには、今後どのような取組が必要だと思いますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1 指導者や指導体制の充実	3	19	10	24	33	25	45	31	190
2 各種講座や催し物の情報提供の充実	7	8	19	8	16	35	32	19	144
3 各種講座や催し物の内容充実	2	6	10	12	15	24	17	14	100
4 スポーツ施設など活動の場の整備充実	14	22	29	35	37	47	39	20	243
5 スポーツ団体への支援	2	13	10	13	18	18	18	6	98
6 スポーツイベントの企画・開催	16	18	35	25	28	35	25	14	196
7 地域スポーツクラブの育成	6	13	16	23	18	27	33	22	158
8 県や大学等との専門機関との連携強化	2	4	1	6	1	8	9	4	35
9 その他自由記載	1	0	1	4	3	4	3	1	17
合計	53	103	131	150	169	223	221	131	1181

【考察】

アンケート全体の回答率の高い順としては、「スポーツ施設など活動の場の整備支援」「スポーツイベントの企画・開催」「指導者や指導体制の充実」であった。年代別に見ると「スポーツ施設など活動の場の整備支援」が多いのは20代、40代～60代であり、「スポーツイベントの企画・開催」が多いのは10代、30代、「指導者や指導体制の充実」が多いのは70代、80代であった。若年から中高年層にかけては「スポーツイベントの企画・開催」「スポーツ施設など活動の場の整備充実」など、実際にスポーツを行う機会や活動するための整備を求める意見が多い。

問9 あなたは、文化財に気軽に親しむために、どのようなことを望みますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 公民館や資料館での展示や催しの充実	3	21	13	16	23	31	43	32	182
2. 文化財を学習できる機会の充実	9	13	21	30	35	43	61	23	235
3. 民俗芸能や祭などが見学できる機会の充実	7	13	21	12	19	31	29	16	148
4 インターネットでの積極的な情報提供	9	28	25	29	23	30	10	9	163
5 ガイドブックやパンフレットの配布	7	5	13	13	15	24	26	17	120
6 文化財の開設などを記載した案内板の充実	5	6	7	9	13	23	33	16	112
7 発掘された遺跡の公開	4	3	10	7	10	13	10	9	66
8 遺跡公園などの整備	5	9	11	11	16	19	11	6	88
9 その他自由記載	1	0	2	6	2	4	1	3	19
合計	50	98	123	133	156	218	224	131	1133

【考察】

アンケート全体の回答率の高い順は「文化財を学習する機会の充実」「公民館や資料館での展示や催し物の充実」「インターネットでの積極的な情報提供」。年代別で見れば10代、40～70代は「文化財を学習する機会の充実」、80代は「公民館や資料館での展示や催し物の充実」が多い。10～30代の若年層では「インターネットでの積極的な情報提供」という回答が多くなっている。

問10 あなたは地域の自然と親しむために、どのような取り組みを望みますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1 自然景観を保護する政策の推進	10	23	17	23	33	56	53	42	257
2 自然の中で行う各種講座・教室の開催	7	16	30	28	35	40	52	25	233
3 自然の中で行うスポーツイベントの開催	13	21	27	25	24	26	26	20	182
4 インターネットでの積極的な情報提供	9	9	14	16	15	21	10	6	100
5 自然環境保護団体への活動支援	5	14	9	10	13	23	33	16	123
6 小中学生への環境学習推進	10	17	28	38	36	47	47	19	242
7 その他自由記載	0	0	1	5	2	4	1	1	14
合計	54	100	126	145	158	217	222	129	1151

【考察】

アンケート全体での回答率の高い順は「自然景観を保護する政策の推進」「小中学生への環境学習推進」「自然の中で行う各種講座・教室の推進」。
年代別では「自然景観を保護する政策の推進」が多いのが20代、60～80代、「小中学生への環境学習推進」が多いのが40代、50代。
その他、30代では「自然の中で行う各種講座・教室の開催」となっており、10代では「自然の中で行うスポーツイベントの開催」となっている。

問11 社会には、性別・年齢・障がいの有無や国籍の違いなど人権に関わるいろいろな問題がありますが、あなたは、人権問題を解決するためにどのような取組が必要だと思いますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 人権に関する意識を向上するための啓発、研修を充実させる	15	17	25	35	40	34	46	34	246
2. 学校や職場での人権学習を充実させる	17	24	41	33	39	50	51	32	287
3. 社会における不合理な格差を解消するための施策を充実させる	5	21	15	30	33	48	46	29	227
4. 人権侵害を受けた人や社会的に弱い立場にある人を支援・救済していく	6	16	12	14	17	29	44	18	156
5. 人権侵害を行った人などに対し法的な規制を行う	6	11	12	15	16	21	13	6	100
6. NPO(民間団体)や企業に対して必要な支援を行う	1	8	10	6	8	14	5	4	56
7. 現状の社会で十分に人権は尊重されており、新たな取り組みは不要である	1	2	4	2	2	8	11	7	37
8. その他	1	2	3	4	4	2	3	3	22
合計	52	101	122	139	159	206	219	133	1131

【考察】

アンケート全体での回答率が高い順としては「学校や職場での人権学習を充実させる」「人権に関する意識を向上するための啓発、研修を充実させる」「社会における不合理な格差を解消するための施策を充実させる」であった。
「学校や職場での人権学習の充実」が多いのは10～30代、60、70代。「人権に関する意識を向上するための啓発、研修の充実」が多いのは40代、50代、80代であった。

問12 あなたは、町の農業振興について、今後どのような取組が必要だと思いますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計	
1. 農地や農道、用・排水施設など生産基盤の充実		4	12	10	9	10	19	17	20	101
2. 農作業受・委託などによる経営規模の拡大		2	9	12	4	13	18	21	14	93
3. 農業生産グループ育成の強化		2	1	8	12	13	14	24	18	92
4. 担い手や後継者の育成		18	38	41	55	52	57	56	38	355
5. 6次産業化(農業の事業者が食品加工、流通販売にも総合的に業務展開すること)への取り組み		7	5	8	15	9	19	21	4	88
6. 先端農業技術などの積極的導入に対する支援		5	7	15	10	9	11	6	8	71
7. 市場拡大のための特産品のPR及び販路拡大		1	8	6	9	12	10	15	6	67
8. 低農薬など環境にやさしい農業の振興		4	4	4	5	6	12	14	8	57
9. 地元生産物を地元で消費する地産地消の促進		6	8	9	6	14	32	22	12	109
10. 荒廃地減少のための取組		4	6	11	22	23	37	33	20	156
11. 県内農業専門機関との連携強化		0	0	2	2	3	6	3	4	20
12 その他		1	1	1	4	3	1	4	0	15
合計		54	99	127	153	167	236	236	152	1224

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順としては「担い手や後継者の育成」「荒廃地減少のための取組」「地元生産物を地元で消費する地産地消の促進」であった。全年代において「担い手や後継者の育成」の率が最も高い。他に特徴的な点としては40代以降で「荒廃地減少のための取組」の回答率が高い。

問13 あなたは、町の水産業振興について、今後どのような取組が必要だと思いますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 東郷池の清掃活動や羽合・泊漁港区域内の環境保全活動	15	24	27	26	27	42	49	21	231
2. 老朽化した基盤施設の機能保全整備	4	11	12	15	20	15	12	8	97
3. 魚類の資源を保護するための、稚魚・稚貝の放流等の推進	11	18	18	11	25	37	44	25	189
4. 新規漁業者や漁業後継者の育成	11	13	29	41	30	37	41	27	229
5. 地元生産物を地元で消費する地産地消の促進	3	11	19	12	28	46	33	28	180
6. 市場拡大のための特産品のPR	2	13	15	16	19	22	21	16	124
7. 現状のままでよい	3	7	5	17	4	9	11	4	60
8. 大学、研究機関等との連携強化	1	2	1	1	4	6	8	6	29
9. その他	1	0	0	3	2	2	2	4	14
合計	51	99	126	142	159	216	221	139	1153

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「東郷池の清掃活動や羽合・泊漁港区域内の環境保全活動」「新規漁業者や後継者の育成」「地元生産物を地元で消費する地産地消の促進」。年代別では10代、20代、70代では「東郷池の清掃活動や羽合・泊漁港区域内の環境保全活動」、30代から50代では「新規漁業者や後継者の育成」、60代、80代では「地元生産物を地元で消費する地産地消の促進」と回答した方が多い。

問14 あなたは、町の商業振興について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
1. 既存商店の活性化を進める	10	13	26	14	21	33	24	27	3	171
2. 小規模店の共同店舗化等による新たな商業核づくり	8	13	19	21	18	40	42	18	2	181
3. 新しい商業施設の誘致	5	12	10	16	18	21	20	19	0	121
4. 大型商業施設の誘致	4	10	14	15	19	15	13	10	0	100
5. キャンペーンの実施や販売促進対策の充実	5	15	14	15	22	27	21	12	0	131
6. 多くの人が集まる観光施設の整備	7	17	15	24	21	35	33	27	1	180
7. 商業経営の近代化支援の充実	2	9	16	9	12	3	17	7	0	75
8. 新商品や新サービスなどの開発支援	5	8	8	20	18	27	27	6	3	122
9. 現状のままでよい	2	1	5	2	3	5	13	4	1	36
10 その他	1	0	1	3	5	3	2	1	0	16
合計	49	98	128	139	157	209	212	131	10	1133

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「小規模店の共同店舗化等による新たな商業核づくり」「多くの人が集まる観光施設の整備」「既存商店の活性化を進める」であった。「小規模店の共同店舗化」の回答率が高いのは60代、70代、「既存商店の活性化を進める」の回答率が高いのは10代、30代、80代であった。

問15 あなたは、町の工業振興について、今後どのような取組が必要だと思いますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1 優良企業の誘致	7	16	16	26	29	43	36	44	217
2 多様な業種の企業誘致	7	24	26	34	44	57	47	36	275
3 既存企業の育成振興	7	18	22	20	19	31	36	11	164
4 起業家への支援や新産業の開発	6	15	25	27	24	40	46	14	197
5 工場の集約	2	4	6	3	6	10	10	5	46
6 工業用地の確保・企業誘致は反対	7	0	7	11	8	4	8	8	53
7 現状のままでいい	4	9	8	7	8	10	11	8	65
8 その他自由記載	1	0	0	1	0	0	1	0	3
合計	41	86	110	129	138	195	195	126	1020

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「多様な業種の企業誘致」、「優良企業の誘致」、「起業家への支援や新産業の開発」であった。10代～70代まで「多様な業種の企業誘致」の回答率が1番高く、80代は「優良企業の誘致」の回答率が1番高かった。

問16 あなたは、湯梨浜町の観光資源を有効に活用するため、どんなことを重点的に取り組むべきだと思いますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1 グリーンツーリズム、ワーケーションの推進	7	18	16	20	16	24	25	18	144
2 町民が観光事業に参加できる仕組みづくり	5	8	2	8	11	8	15	7	64
3 歴史や文化資源の活用	4	5	3	8	16	19	23	17	95
4 癒し効果のある施設の充実	8	27	32	25	34	34	29	12	201
5 ウォーキングコース等の環境整備	5	8	20	18	20	46	48	34	199
6 観光ルートの設定	7	8	19	17	18	28	32	16	145
7 イベントや祭りの充実	7	10	12	17	17	27	33	16	139
8 魅力ある特産品の開発	9	17	22	22	21	20	19	9	139
9 観光情報の積極的な発信	3	3	4	7	6	15	14	12	64
合計	55	104	130	142	159	221	238	141	1190

前回選択肢はこのほか「10. その他」あり。(3.6%)

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「癒し効果のある施設の充実」「ウォーキングコース等の環境整備」「観光ルートの設定」であった。「癒し効果のある施設の充実」の回答率が高かったのは20代～50代、「ウォーキングコース等の環境整備」の回答率が高いのは60代～80代であった。

問17 湯梨浜町では、求職者の雇用対策に関する施策を推進しておりますが、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1 若年者の就労支援充実	15	32	36	43	46	71	77	52	372
2 氷河期世代への就労支援	1	4	11	14	7	15	14	4	70
3 団塊の世代など高齢者の就労支援	4	9	10	16	33	37	31	28	168
4 障がい者の就労支援	3	6	4	9	6	9	9	5	51
5. 母子家庭の母親や出産育児後の再就職など、女性の就労支援の充実	5	10	21	13	11	20	21	5	106
6. ホームページ等による求人・求職情報提供の充実(ハローワークとの連携)	6	19	9	6	10	12	8	5	75
7. 履歴書の書き方や面接対策など、求職者向けの就職支援講座の充実	2	1	0	1	3	0	3	0	10
8 職業体験や職業観の醸成	7	7	14	16	13	18	23	8	106
9 職業人としての能力向上の支援	2	7	10	11	21	18	13	6	88
10. 地元企業との就職面接会など、町内での雇用機会拡大の推進	7	6	9	14	11	21	20	19	107
11 その他自由記載	1	0	1	2	1	1	0	2	8
合計	53	101	125	145	162	222	219	134	1161

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「若年者の就労支援充実」「高齢者の就労支援」「町内での雇用機会拡大推進」であった。
 全年代で「若年者の就労支援充実」と回答した方が1番多かった。

問18 あなたは、食料品や日用品の買い物において、不便や不安を感じていることはありますか。

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 近くにお店がない	10	11	13	21	19	27	33	27	162
2. 近くのお店は品ぞろえが不足している	0	6	7	13	6	12	8	10	62
3. バスや鉄道などの交通の便が悪い	5	4	8	8	3	9	15	10	62
4. 自分で運転ができない	0	2	1	0	1	2	9	7	23
5. 買い物を頼む知人がいない	0	0	0	0	1	0	0	5	6
6. 特に不便や不安はない	16	35	45	39	59	78	62	30	368
7. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	31	58	74	81	89	128	127	89	683

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「特に不便や不安は感じない」「近くに店がない」であった。
 全年代で「特に不便や不安は感じない」の回答率が1番高かった。

問19 あなたは、通学・通勤・通院・買い物など、どのような手段で外出していますか。

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 自分で車やバイクを運転している	9	46	69	75	84	109	95	45	532
2. 家族や知人の車で外出している	14	5	0	1	1	8	18	25	72
3. 公共交通機関(鉄道、バス)を利用している	4	1	1	0	1	1	6	4	18
4. タクシーを利用している	0	0	0	0	1	0	2	5	8
5. 社会福祉協議会の乗り合いバスを利用している	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 徒歩・自転車外出している	3	4	2	0	1	5	10	2	27
7. その他	1	0	0	2	0	1	2	1	7
合計	31	56	72	78	88	124	133	82	664

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「自分で車やバイクを運転」「家族や知人の車で外出」「徒歩や自転車外出」であった。高齢になるにつれて「家族や知人の車で外出」と回答する方が増加している。

問20 現在、湯梨浜町内を走る路線バスの乗車人数が減少しており、バス事業者の経営維持のため町がバス事業者に対して赤字部分の助成を行い、バス路線を維持している状況です。また、高齢者の運転免許の返納も推進されている社会情勢もあり、町では高齢者定期券購入費助成事業として65歳以上の方に路線バスの定期券の一部を助成、さらに運転免許を自主返納した方に対しては高齢者定期券購入費の助成率を拡大しています。
あなたは、今後こうした身近な移動手段の確保に向けた取組をどう進めるべきだと思いますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 路線バスの高齢者定期券購入費助成事業を継続する	11	17	24	25	25	30	42	31	205
2. 交通不便地区の生活交通確保のため、デマンド型乗合タクシーを導入する	13	28	27	34	42	45	46	21	256
3. 交通不便地域にお住まいの高齢者へのタクシー費用の助成	5	15	14	22	29	41	29	31	186
4. 地域住民やNPO団体等が主体となった共助による交通手段の確保	4	9	12	22	23	30	27	11	138
5. バス停に屋根やベンチなどを設置することによるバス待ち環境の改善	7	9	12	6	6	10	16	2	68
6. ノンステップバス(低床バス)の導入などによる高齢者・障がい者等への配慮	1	8	2	5	2	15	9	7	49
7. 携帯できる時刻表やバス路線図の作成などによる公共交通の情報提供の充実	8	2	5	3	4	5	5	5	37
8. 現在のように町がバス事業者へ赤字部分の助成を行い、バス路線を維持する	2	11	9	13	13	33	31	21	133
9. 採算が取れないバス路線は無くなっても仕方がない	3	1	11	1	12	7	6	8	49
10. その他	0	2	4	10	4	4	5	3	32
合計	54	102	120	141	160	220	216	140	1153

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「デマンド型の乗り合いタクシーの導入」「高齢者定期券購入費助成事業の継続」「交通不便地域の高齢者へタクシー費用助成」であった。「デマンド型の乗り合いタクシーの導入」の回答率が1番高かったのは10代から70代、80代は「高齢者定期券購入費助成事業の継続」「交通不便地域の高齢者へタクシー費用助成」の回答率が高かった。

問21 あなたがお住まいの地域において、今後、ゆとりある生活と快適な住宅・住環境の実現を目指すには、どのような取組が必要だと思いますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 町営・県営住宅の増設	3	7	10	9	13	9	7	11	69
2. 高齢者、障がい者住宅の増改築に対する支援の充実	9	12	15	22	31	49	48	31	217
3. 耐震診断、耐震補強に係る制度の充実	6	16	15	14	18	15	25	16	125
4. 持家の購入、増改築などの融資制度の充実	6	17	29	23	23	30	27	10	165
5. 新增築などに対する総合的な相談窓口の設置	0	9	7	8	17	10	7	8	66
6. 自然環境への配慮	9	12	8	15	12	29	31	10	126
7. 防災対策の充実	9	19	25	28	29	58	50	31	249
8. 現行のままでよい	3	4	5	6	6	8	9	10	51
9 その他 自由記載	0	1	6	10	3	2	3	0	25
合計	45	97	120	135	152	210	207	127	1093

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「防災対策の充実」「高齢者、障がい者住宅の増改築に対する支援」「持ち家の購入、増改築などの融資制度の充実」であった。20代、40代、60代、70代で「防災対策の充実」と回答した方が1番多く、10代、80代では「高齢者、障がい者住宅の増改築に対する支援」「防災対策の充実」、50代では「高齢者、障がい者住宅の増改築に対する支援」と回答した方が1番多かった。

問22 あなたは日ごろから、ごみの減量や資源化に取り組んでいますか。特に気を付けていることは何ですか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 不用なものは買わない	8	19	18	26	22	34	38	31	196
2. マイバグの持参や過剰包装の拒否をする	10	23	23	30	35	38	41	21	221
3. 詰め替え可能な商品を選択(シャンプーや洗剤等)する	19	24	36	37	40	50	44	15	265
4. 再生品を優先して選択(トイレットペーパーなど)する	2	1	3	2	7	8	6	4	33
5. 壊れたり故障したものは、できるだけ修理して使用する	0	2	5	6	5	16	16	10	60
6. 不用品は知人に譲ったり、バザーやフリーマーケットに出したりする	2	7	11	4	3	3	1	2	33
7. 資源(びん、缶、紙等)の分別の徹底やごみ出しのルールを守る	13	20	30	32	48	76	70	49	338
8. コンポストや生ごみ処理機を利用する	0	1	3	6	6	9	16	8	49
9. 生ごみの水切りを徹底する	2	0	2	2	2	3	10	9	30
10. 何も取り組んでいない	0	3	1	1	1	2	0	2	10
11. その他	0	0	1	1	1	0	0	1	4
合計	56	100	133	147	170	239	242	152	1239

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「資源の分別の徹底やごみ出しのルール徹底」「詰め替え可能な商品を選択」「マイバグの持参や過剰包装の拒否」であった。10代～40代は「詰め替え可能な商品を選択」の回答率が1番高く、50代～80代は「資源の分別の徹底やごみ出しのルール徹底」の回答率が1番多かった。

問23 あなたは、町の消防・防災対策について、今後どのような取組が必要だと思いますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1 防火・防災意識の啓発活動の充実	3	5	6	17	17	26	23	23	120
2 防災施設(避難場所や消火栓など)の整備充実	3	9	11	26	18	22	18	15	122
3 避難所に備える食料・水・簡易トイレなどの十分な確保	8	17	40	22	24	42	34	19	206
4. 防災訓練などを地域で自主的に行う自主防災組織の充実	3	1	5	9	6	24	31	16	95
5 災害時に一人で避難することが困難な町民への対策の充実	10	23	22	21	22	23	28	22	171
6 災害発生時に家族などの安否確認が行えるシステムづくり	11	12	15	10	18	14	19	14	113
7 災害時の情報連絡体制の充実	5	7	8	10	20	36	22	16	124
8 河川など災害発生危険個所の整備	5	15	14	17	25	28	28	12	144
9 湯梨浜町防災マップの町民への普及と活用	5	13	10	8	15	13	22	10	96
10 その他	0	2	1	3	0	5	2	1	14
合計	53	104	132	143	165	233	227	148	1205

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「避難所に備える食料・水・簡易トイレなどの十分な確保」「一人で避難することが困難な町民への対策の充実」「河川など災害発生危険個所の整備」であった。「避難所に備える食料・水・簡易トイレなどの十分な確保」の回答率が1番高いのは30代、60代、70代であった。

問24 今後、高齢化社会がより進むと思われるですが、どのようなことが重要になると思いますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 趣味や教養等を活かすことができる生涯学習の充実	5	17	18	14	15	19	33	15	136
2. 身近な相談窓口の充実	3	9	6	11	16	23	17	17	102
3. 高齢者が外出しやすいまちづくりの推進	15	21	20	29	23	43	40	27	218
4. ボランティアや地域活動等の社会参加の推進	2	5	7	4	10	14	13	3	58
5. 生涯にわたる健康づくりの推進	9	12	17	22	18	34	33	18	163
6. 介護保険サービスなどの充実や介護予防事業の推進	10	18	29	30	39	45	46	24	241
7. 能力や経験を発揮できる就労対策の推進	6	13	24	28	23	20	13	6	133
8. 高齢者が安全・安心に生活できる防犯、交通安全等の対策の推進	7	8	10	9	11	24	29	30	128
9. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	57	103	131	147	155	222	224	140	1179

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「介護保険サービスの充実等」「高齢者が外出しやすいまちづくりの推進」「生涯にわたる健康づくりの推進」であった。
10代、20代は「高齢者が外出しやすいまちづくりの推進」、30代～70代は「介護保険サービスの充実等」、80代は「防犯、交通安全対策推進」の回答率が1番高かった。

問25 高齢者がいきいきとした生活をおくるためには介護予防が大切になりますが、町ではどのような取組が必要だと思いますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1.パンフレットの配布や講演会の開催など啓発事業の充実	1	3	4	5	5	11	17	9	55
2. 地域包括支援センターなどの身近な相談窓口の充実	7	15	17	24	28	42	24	33	190
3. 介護予防を必要とする人の早期発見の取組	10	15	21	30	39	43	50	33	241
4. 運動機能や口腔機能の向上などを目的とした事業の実施	11	19	24	21	16	24	25	8	148
5. 閉じこもり、認知症、うつ病などの予防を目的とした事業の実施	20	34	34	39	30	39	49	26	271
6. 介護予防の活動を行うための場所の確保	1	5	10	9	16	27	20	10	98
7. 介護予防に関するボランティアなどの人材の育成	4	10	11	14	17	25	27	18	126
8. その他	1	1	3	4	2	1	1	2	15
合計	55	102	124	146	153	212	213	139	1144

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「閉じこもり症等の予防を目的とした事業実施」「介護予防を必要とする人の早期発見の取組」「身近な相談窓口の充実」であった。
10代～40代は「閉じこもり症等の予防を目的とした事業実施」、50代～70代は「介護予防を必要とする人の早期発見の取組」、80代は「身近な相談窓口の充実」「介護予防を必要とする人の早期発見の取組」の回答率が1番高かった。

問26 障がいのある人もない人も、誰もが共に生きる社会をつくるためには、何が必要だと思いますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 日常生活への支援などの福祉サービスの充実	12	26	22	31	42	67	61	48	309
2. 障がい者への理解を深めるための普及・啓発や学校教育の推進	7	16	18	24	26	30	34	15	170
3. 交通機関、建築物、道路などのバリアフリー環境の整備	12	25	19	23	28	33	33	21	194
4. 障がい者が住みやすい住宅やグループホーム等の整備	6	4	14	11	18	19	23	11	106
5. 就労の援助や雇用の促進	15	20	33	37	27	42	34	22	230
6. 障がい者が参加しやすいスポーツ・レクリエーション・文化活動の充実	3	4	9	8	7	17	15	7	70
7. ボランティアなど人材育成の推進	1	6	7	9	12	9	15	7	66
8. その他	0	1	5	3	1	0	1	2	13
合計	56	102	127	146	161	217	216	133	1158

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「福祉サービスの充実」「就労の援助や雇用の促進」「バリアフリー環境の整備」であった。10代、30代、40代は「就労の援助や雇用の促進」、20代、50代～80代は「福祉サービスの充実」の回答率が1番高かった。

問27 町民の健康のために、どのような取り組みが必要だと思いますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 町民と行政と一緒に取り組む地域の健康づくり事業の充実	8	13	16	16	21	45	49	32	200
2. 健康づくりの指導者や組織の育成・支援	2	11	6	14	11	16	18	19	97
3. 健康の確認や病気を早期に見出すための健診の充実	13	17	27	24	38	50	42	34	245
4. 身体と心の健康・育児について学べる教育事業の充実	2	6	7	13	6	6	7	2	49
5. 育児や保健医療などの困りごとについての健康相談の充実	2	12	11	12	8	7	5	4	61
6. 心の病気や難病などの相談事業の充実	4	8	4	10	10	15	14	6	71
7. 歯周疾患や虫歯などの歯科保健に関する啓発事業の充実	0	4	5	6	4	8	4	2	33
8. 予防接種・感染症(インフルエンザ等)などの病気に関する予防対策の充実	8	13	18	19	31	30	27	24	170
9. 正確な健康情報や保健サービスの情報提供	5	8	19	9	16	25	23	11	116
10. 健康づくりの拠点となる施設の整備	6	8	8	13	8	18	24	7	92
11. 大学等専門機関との連携強化	2	3	3	3	2	1	4	2	20
12. その他	0	0	6	6	2	3	1	2	20
合計	52	103	130	145	157	224	218	145	1174

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「健診の充実」「地域の健康づくり事業の充実」「予防接種、感染症等に関する予防対策充実」であった。70代は「地域の健康づくり事業の充実」と回答した方が1番多く、70代を除く全年代で「健診の充実」と回答した方が1番多かった。

問28 地域活動・ボランティア活動についておたずねします。

① あなたの地域活動・ボランティア活動への、現在の参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 現在、参加しているし、今後も参加したい	1	6	19	23	28	43	54	13	187
2. 現在、参加していないが、今後は参加したい	15	29	21	31	25	26	18	8	173
3. 現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない	0	0	0	3	2	3	3	7	18
4. 現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない	14	22	30	20	30	42	39	44	241
5. 未回答	1	1	2	4	5	11	16	14	54
合計	31	58	72	81	90	125	130	86	673

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない」「現在、参加しているし、今後も参加したい」「現在、参加していないが、今後は参加したい」であった。

② あなたは、今後、どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。

問28①で「1. 現在、参加しているし、今後も参加したい」「2. 現在、参加していないが、今後は参加したい」と回答した方

※複数回答可(3つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 自治会などの活動	2	6	22	25	25	40	45	16	181
2. 自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動	8	12	12	18	24	27	25	8	134
3. 高齢者クラブや女性団体、子ども会などの活動	0	7	9	10	5	18	24	9	82
4. 子育て支援や青少年の健全育成に関する活動	3	7	12	15	8	9	1	4	59
5. 教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動	10	14	10	8	8	9	8	5	72
6. 伝統芸能の保全に関する活動	2	3	1	4	0	9	6	4	29
7. 高齢者や障がい者へのサポートなど福祉に関する活動	2	6	3	9	8	11	15	4	58
8. 通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動	1	2	1	3	4	1	3	1	16
9. 募金や寄付、バザー等に関する活動	2	0	1	2	1	2	4	1	13
10. 地域づくりやまちおこしに関する活動	6	12	10	19	14	20	28	5	114
11. 自主防災や災害援助に関する活動	3	3	5	10	6	14	13	0	54
12. 交通安全に関する活動やパトロールなどの防犯に関する活動	1	2	0	1	3	2	5	3	17
13. 国際交流、国際協力に関する活動	2	3	5	2	5	2	4	0	23
14. その他	0	1	1	1	2	2	3	7	17
合計	42	78	92	127	113	166	184	67	869

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「自治会などの活動」「自然保護や環境保全等」「地域づくりやまちおこし」であった。
10代20代は「教育・文化・スポーツ活動」の回答率が1番高く、30代～80代は「自治会などの活動」の回答率が1番高かった。

問29 これからのまちづくりは、より多くの住民の皆さんが町政に参画して、課題解決や地域づくりを行う「住民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「住民参画・協働のまちづくり」を進めるためには、行政に何が必要だと思いますか。

※複数回答可(2つまで)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
1. 迅速的確な行政情報の提供・公開のための、広報活動の充実	7	16	18	16	28	41	45	28	199
2. できるだけ多くの住民の意見や要望を聞くための、広聴活動の充実	9	22	17	24	21	32	41	30	196
3. 講座や教室の開催等を通じた、まちづくりに関する学習機会の提供	1	3	8	4	11	8	12	7	54
4. 地域活動・ボランティア活動を活性化するための仕組みづくり	8	10	12	15	20	27	18	13	123
5. 各種行政計画策定の際の審議会委員の一般公募、パブリックコメントの充実	8	3	6	11	7	11	10	3	59
6. 新たなまちづくりの担い手としてのNPO等の育成・支援	2	7	4	10	10	15	21	9	78
7. 親子で学ぶまちづくり講座の設置、地域行事参加への促進	2	9	12	8	9	11	13	5	69
8. 子どもや若者が積極的にまちづくりに参画できるような機会の提供	9	26	43	41	30	53	48	15	265
9. 住民参画・協働のまちづくりは必要ではない	1	0	1	1	1	1	0	0	5
10. その他	2	0	0	3	1	2	1	4	13
合計	49	96	121	133	138	201	209	114	1061

【考察】

アンケート全体の回答率が高い順は「子どもや若者が積極的にまちづくりに参画できる機会提供」「広報活動の充実」「広聴活動の充実」であった。10代は「広聴活動の充実」「子どもや若者が積極的にまちづくりに参画できる機会提供」の回答率が1番高く、20代～70代は「子どもや若者が積極的にまちづくりに参画できる機会提供」、80代は「広聴活動の充実」の回答率が1番高かった。